

テーマ 曼荼羅

課題やレポート等で真言学に初めて取り組む際にはどのような資料が有効なのでしょう。一例として曼荼羅をテーマとし学んでおくべき資料・ツールをあげました。みなさんの学びの参考にしてみてください。

本を探するとき、こんなキーワードで探してみよう

弘法大師空海、真言宗(真言密教)、『大日経』、『金剛頂経』 など

図書館にある資料の一例

参考図書 ☆テーマについて調べたり、基本的な事柄を把握したりするときに便利！1F和参考書は貸出できませんので注意してください。

書名・著者・出版社など	所在場所	請求記号	資料ID	ポイント
『密教大辞典』密教辞典編纂会編，法蔵館，1983.2	1F 和参考書	188.303/M1/3	50+0003887	真言密教に関わる用語や人名を調べる上で有効である。
『密教辞典』佐和隆研編，法蔵館，1975.2	1F 和参考書	188.303/S2/1B	50+0003893	『密教大辞典』と同様真言密教に関わる用語や人名を調べる上で有効なものである。『密教大辞典』より現代仮名遣いなので比較的読みやすい。
『密教小辞典（講座密教 第5巻）』宮坂宥勝〔ほか〕編，春秋社，1987.3	1F 和参考書	188.308/M1/1-5	50+0003993	インド・チベット・中国・日本に展開した密教の基本的な事項（教相・事相・寺名・人名等）を、研究成果を踏まえながら簡潔に解説している。加えて多面的な密教像を提示している。
『真言宗小事典』福田亮成 編，法蔵館，1987.8	B1A 和閉図書	188.303/H1/1B	50+0019018	真言宗の事項についてコンパクトにまとめられた書である。通読して基礎知識を身につけるには最適といえる。
『曼荼羅大全』マルティン・ブラウエン 著 森雅秀 訳，東洋書林，2002.9	2F 和開図書	188.97/BM-Z	10+0132345	本書は曼荼羅の作り方、そしてその意味にいたるまで解説した画期的な書である。内容としては、チベットの曼荼羅が主であるが、日本との比較する際の構造理解への知識取得に有用である。また、チベットで実際に曼荼羅を造立する写真を載せており、文献と写真資が充実している点は特徴的である。

入門書 ☆基礎を学んでみよう

書名・著者・出版社など	所在場所	請求記号	資料ID	ポイント
『曼荼羅入門』福田亮成 著，ノンブル社，1992.9	B1A 和閉図書	188.355/HR-M	10+0002784	金剛界・胎蔵界の曼荼羅について専門的なものをできるだけ避け、諸仏の配置や関係性を解説した分かりやすい書である。
『曼荼羅の鑑賞基礎知識』頼富本宏 著，至文堂，1991.10	B1A 和閉図書	187.2/YM-M	00+0000392	本書は初心者を対象としたもので曼荼羅をどのように鑑賞するものなのかを解説した綱要書である。内容としては概念・成立と流伝・構造、そして金剛界や胎蔵界を初め、それ以外の曼荼羅のいくつかについても言及している。
『両界曼荼羅（日本の美術 NO432）』東京国立博物館，京都国立博物館，奈良国立博物館監修，至文堂	B1B 和閉雑誌	057.0/N3	20+0025806	本書は日本で有名な曼荼羅を多く取り上げ解説をしている。真言祖師像・両部大経感得図・高雄曼荼羅・東寺版・醍醐寺版・小島寺版等である。後半には東寺の立体曼荼羅の解説等がある。
『両界曼荼羅の智慧』石田尚豊 著，東京美術，1979.5	B1A 和閉図別	188.355/I1/2	50+0056971	本書は金剛界・胎蔵界の曼荼羅を中心に解説している。内容としては、両部曼荼羅の世界・両部曼荼羅の伝承・図版写真・索引の構成になっている。両部曼荼羅の構成を知る上で必携の書である。

専門的な図書 ☆より深く学ぶにはこちらを読もう！

書名・著者・出版社など	所在場所	請求記号	資料ID	ポイント
『那須政隆著作集 第5巻(現図両界曼荼羅講伝)』宮坂宥勝 [ほか]編, 法蔵館, 1997.10	2 F 和開図書	188.308/NS-N/5*	10+0052967	本書是那須政隆氏の著作集に収載されているものである。これは講伝とあるように、真言宗の伝統的な解釈方法や文献の取り扱い方を述べたものである。真言宗の宗徒はこれをもとに曼荼羅を行法において観想するものであり、必読の書といえる。本来であれば、阿闍梨より伝授をってもらうことを習いとする。
『インドにおける曼荼羅の成立と展開』田中公明著, 春秋社, 2010.2	2 F 和開図書	187.2/TK-I	10+0238996	本書は田中公明氏の博士論文である。田中氏は曼荼羅の成立から、インドの曼荼羅に関する文献資料をもとに、幅広い検討を加えている。さらに国内に留まらず、海外の先行研究にも目を向けており、研究動向についても言及している。
『曼荼羅の研究』梅尾祥雲 著, 高野山大学出版部, 1927.8	B1A 和開図書	188.355/TS-M	50+0083665	古い書であるが、梅尾祥雲全集の一冊で、真言密教の伝統的な曼荼羅の見方を学ぶことができる。また、曼荼羅の諸仏と経典に説かれている内容を比較し、配置や尊容の相違点等を詳細に研究されたものである。
『曼荼羅の研究』石田尚豊 著, 東京美術, 1975.11	2 F 和開図別	188.355/I1/1-1 188.355/I1/1-2	50+0056915 50+0056916	石田尚豊氏の博士論文を刊行したもので、大部なものである。内容は研究編と図版編の二部構成になっている。研究編に曼荼羅の構造に即した詳細な研究がなされており、図版編は、金剛界・胎藏界の曼荼羅に描かれる諸仏を丁寧に掲載している。個別の尊格を研究するには重宝する。
『密教仏の研究』頼富本宏 著, 法蔵館, 1990.2	B1A 和開図書	187.1/Y6/1	50+0016977	本書は密教の仏について研究された頼富本宏氏の博士論文で、内容は文献資料と美術資料の二方面より検討されている。詳しくは、文献資料については密教以前・初期中期密教経典・後期密教経典より研究されている。美術資料についてはインド現存の密教系遺跡・遺品を中心として研究されている。

学術雑誌 ☆専門的な研究や最新動向を知るなら、雑誌を見てみよう！巻号数がたくさんある場合は、読みたい論文・記事を特定してください。

誌名・発行元	所在場所	請求記号	所蔵巻・所蔵年	ポイント
『密教図像』密教図像学会	2 F 和開雑誌	051.8/M13	1-19, 21-33<1982-継続中>	図像学を専門にする研究者方により執筆された雑誌論文。
『密教学研究』日本密教学会	2 F 和開雑誌	051.8/M6	1-47<1969-継続>	密教学を専門にする研究者方により執筆された雑誌論文。

データベース・関連 Web ページ

☆専門的な情報を探すときに便利です。データベースで探した本や論文が図書館にあるか、あらためて OPAC (蔵書検索) や CiNii で調べましょう

図書館の OPAC・データベースについては Student's Handbook2017 内の『図書館活用ガイド』133 ページ・135~137 ページを参考にしてみよう！

●印のデータベース・Web ページは、図書館 HP にリンクがあります

データベース・Web ページ名	URL	ポイント
●INBUDS(インド学仏教学論文データベース)	http://www.inbuds.net/jpn/preview.html	仏教学全般にわたって論文を検索できます。
●CiNii Articles	http://ci.nii.ac.jp	仏教学以外の分野の論文も検索できます。
国立国会図書館デジタルコレクション	http://dl.ndl.go.jp/	文献によっては国立国会図書館内のみのネットワークで閲覧可能なものがある。

※上記 URL は 2017 年 10 月現在のものです

その他の資料

☆仏教学全体に共通する基礎資料として、以下も参考にしましょう。

- ・大正新脩大蔵経（曼荼羅は「図像部」を参照）
- ・日本大蔵経
- ・大日本佛教全書
- ・南伝大蔵経

☆各宗派ごとの基礎資料は以下が有用です。

真言宗

- ・真言宗全書
- ・続真言宗全書
- ・弘法大師全集
- ・弘法大師空海全集
- ・興教大師全集

天台宗

- ・天台宗全書
- ・続天台宗全書
- ・天台大師全集
- ・傳教大師全集

浄土宗

- ・浄土宗全書